



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
115

令和元年 9月18日

地域を担う中学生・高校生・大学生が頑張っています！

青森で生きる未来人財育成事業 「寺子屋」

当センターでは、青少年の自己肯定感や主体性を高め、青少年が地域活動に参加し成長する仕組みづくりを行うことを目的に「寺子屋」を実施しています。今年度は、青森市と八戸市で開催しています。

青森会場



40名の高校生・大学生が登録し、月2～3回日曜日に当センターで開催しています。前半2時間は「勉強タイム」、後半2時間は「レクリエーション」を行い、小学生・中学生と交流しています。

八戸会場



73名の中学生・高校生が登録し、児童館、放課後子ども教室等で小学生と交流しています。

児童館・放課後子ども教室では毎回10名前後の中学生・高校生が参加し、レクリエーションや読み聞かせなどを行っています。

各会場の活動予定は当センターHPに掲載しております。また、活動の詳細や、ぜひ我が市町村で実施したいという御相談、見学の希望がございましたら、当センター教育活動支援課へ御連絡ください。

～家庭教育支援動画制作普及事業～

「子育て支援動画」をご存知ですか？

現代は、都市化や少子化が進み、核家族化や地縁的なつながりの希薄化により家庭教育を支える環境は大きく変化しています。家庭においては、祖父母など身近な人から家庭教育を学ぶ機会が減少し、地域においては、地域の大人が子育てに関わる機会が少なくなっています。

そこで、子育てに関わる人々の抱える不安や悩みを払拭し、家庭教育の重要性を訴えるため当センターで制作しているのが、「子育て支援動画」です。

子育てのヒントや県内で取り組んでいる子育て支援の最新情報を見ることができます。

【平成30年度制作】

- ・家族の笑顔を増やそう！
- ・発達障がいを知っていますか？
- ・身近にあるネットトラブル
- ・学校に行きたくないって言われたら？ 他



左記の他、これまで制作した動画80本
をご覧になれます。下記へアクセス！！

<http://kosodate-a.net/douga.html>

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

「社会に開かれた教育課程の実現に向けて」

青森県総合学校教育センターとの連携講座

青森県総合学校教育センターと連携し、「教頭研修講座（5/9）」と「今ある教育活動を活かすキャリア教育研修講座（6/11）」を実施しました。各講座の一部に「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたプログラムを設け、目前に迫った新学習指導要領の実施に備えるためです。

「教頭研修講座」では、モデル校の資料を参考に「教頭として」だけではなく、校長・保護者・地域住民・行政職員・NPO等の団体・企業等などの立場を役割分担し、それぞれの立場から様々な意見と多様な視点で意見を交わす演習を行いました。

受講者からは、「いろいろなアイデアや考えに『学校と地域が連携・協働し**目標を共有**する』ことの具体的なイメージを持つことができました。」などの感想をいただきました。

また、「今ある教育活動を活かすキャリア教育研修講座」では、既存の活動から、キャリア教育につながる体験活動を考え、学校と地域が「**共有する目的**」を明確化することで、両者の連携・協働について考える演習を行いました。

受講者からは、「演習を通じて、キャリア教育の本質に近づけたような気がしました。」などの感想をいただきました。

今後も「社会に開かれた教育課程」について理解を深めていただけるよう研修の機会を提供してまいります。【演習の様子】



教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座を開催します！！

日時：11月19日（火）～20日（水） 場所：県総合社会教育センター
内容：「目的を共有するって？」を考える講座です。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/platform-list.html> をご覧ください。

問い合わせ先 教育活動支援課 TEL 017-739-1270

北海道・北東北4道県 生涯学習センター等研修交流会

去る7月25、26日の2日間、秋田県生涯学習センターにおいて「北海道・北東北4道県生涯学習センター等研修交流会」があり、当センターからも出席しました。その様子を御紹介します。

この研修交流会は、昨年度、第1回を本県で開催しました。北海道と秋田県、岩手県、青森県の生涯学習に関わる施設の職員同士の情報交換や職員の資質向上を図ることを目的に、各道県の持ち回りで開催することになっています。（今回は、オブザーバーとして山形県生涯学習センターも参加しました。）

初日は、まず、各センターからの提案による協議題について、情報交換を行いました。施設運営の状況、地域との連携、家庭教育支援への取組など、各所の様子が紹介されました。各道県で与えられた役割の違いも確認しつつ、各センターの今後の取組の方向性を考えるきっかけを得ることができました。

その後、2日間にわたり、話し合いの手法「熟議」を体験しました。参加者全員がお互いに理解と共感をし、チームとしての目標等を練っていくための手法であり、特に、地域と学校との連携を推進する上で活用できることが提案されました。

議題や参加者を変えると、様々な場面で活用できる可能性の広い手法だと感じました。

また、秋田県の「オーダーメイド型社会教育主事派遣事業」の紹介もありました。市町村の要望に応じて、秋田県生涯学習センターの社会教育主事が出向き、支援する取組です。活用しようとする市町村が増加傾向にあるとのことでした。

最後に、来年度に協議すべき内容や今後の方向性を話し合い、今後もさらに交流を深めることを確認し、次年度開催の岩手県での再会を約束して終了しました。

参加4道県は、昨年度から、お互いの事業や取組等を参考にしたり、講師についての情報交換したりするなど、交流の成果を活用しています。今回の研修交流会で得た情報も、今後、当センターの事業等へ積極的に活用していきたいと考えています。



「熟議」の様子

魅力あふれる青森県、つくります！

創造塾 パワフルAOMORI!

第31期パワフルAOMORI! 創造塾 始動!

県内の地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引するパワフルな人財を育成する事業、「パワフルAOMORI! 創造塾」。第31期となる今期も、県内各地から17名の若者が「あおもりを熱くしよう」という想いのもとに集まり、今年度もエネルギーにスタートしました。



みるみるうちにチームが形成された第1回講座

本事業は7月の第1回講座を皮切りに、およそ半年にわたり、3回の講座（1泊2日の合宿型）、実践活動、卒塾後のアクションプランの発表会により構成されています。

第1回講座では、ものがたり法人FireWorks映画監督 林 弘樹 氏の熱血指導の下、グループでタブレット端末を用い、短編映画を制作しました。台本づくり、撮影、編集作業と活動を進めるうちに、塾生同士の距離はグングン縮まりました。

映画づくりの三原則「話し合う、力を合わせる、あきらめない」は地域活動にも直結するものとして、塾生の心に深く刻まれました。

8月に行われた第2回講座は、恒例となった三村知事の特別講演でスタートしました。「小さくても花をしっかりと咲かせる」、「自分でやる気を出す取組を」、「普通に生きている人が輝けるように」という理念のもと、これまで、そしてこれからの取組を伝える知事の明るく情熱的な講演は、塾生を大いに勇気づけました。

続いて、八戸をおもしろくする市民集団「まちぐみ」組長 山本 耕一郎 氏によるこれまでの御自身の事例発表「地域づくりの現場のまっただ中で」、合同会社ファミリーコンパス共同代表 渋谷 聡子 氏による演習「自分を表現する指針を育む」を行いました。「ゆるさ」「自己受容」等のキーワードを基に、他者との関わりを見直し、自身の来し方行く末を考える素晴らしい時間となりました。



それぞれの「オモイを耕した」第2回講座

今後は、10月の生涯学習フェアをはじめとする様々な場面での実践活動、10月の第3回講座を経て、11月の第4回講座では個々のアクションプランのプレゼンテーションを実施します。

楽しみながら地域づくり活動を行っていく塾生たちのこれからの姿、どうぞ御期待ください。



魅力ある講座の実践紹介！

VOL. 7
青森市

「19年目を迎える門松作り」

今回は、地域住民の声を大切にしながら、今年度で開催19年目を迎える「門松作り」などの公民館事業を精力的に展開している、青森市浪岡大杉公民館の取り組みについて、管理責任者の天内忠治さん、職員のみなさんから話を伺ってきました。



立派な門松ができあがります！

浪岡大杉公民館は、平成29年に開館40周年の節目を迎え、記念式典を開催するとともに、記念誌と寄稿集を発行しました。

開館42周年を迎える今年度は、奉仕活動、高齢者教育、女性教育、青少年事業、地域づくり、成人教育の6項目のバランスを考えながら事業を計画し、活動に全力で取り組んでいます。

それらの事業の中でも一番長く続いているのが、今年度で開催19年目を迎える「門松作り」です。毎年12月に講師の方をお招きして、お正月に向けて門松作りに取り組み、下の写真のような立派な門松を作ります。今年度は12月22日に実施する予定です。

実際に参加した方からは、「自宅の玄関に飾ると、できばえがよくとても満足でした。」「飾っているのを見た人から、どこで買ったの？と聞かれてうれしかったです。」など、喜びの声が上がっています。

作業場所の関係で、15～16人限定での募集となっていますが、毎年、定員に達しています。最近では、大杉地区からだけではなく、青森市内の別地区から参加する方もいます。

事情があってこの門松作りが開催されなかった年がありましたが、地域の方の「今年はやらないの？」という声を聞いて、毎年開催することを決意しました。

材料は、杉を多く使いますが、毎年地域の方が提供してくれるので大変助かっています。

大杉地区の冬場は、門松作りやしめ縄作り教室、50～60人が集う「ゴニカン」トランプ大会などで、多くの方が公民館を訪れ大変賑やかになります。



地域住民の声を大切にしながら

浪岡大杉公民館の職員のみなさんは、「門松作り」はもちろんのこと「健康教室」などの講座に地域の方々が参加し、公民館に足を運んでくれることに感謝の気持ちを持っています。

その思いから、事業や講座の内容を計画するときには、参加してくださる方々の要望に少しでも応えていきたいと考えています。

そこで、公民館に足を運んでくださる地域の方との雑談や何気ないコミュニケーションの中から「こんなことをしてほしい。」「こんな話を聞きたい。」という生の声を聞いて、今年度の「健康教室」の講師に、整形外科の先生をお招きしたとのことでした。

また、今後は、地域の若い世代にも、公民館の講座に興味を持ってもらい、もっと足を運んでもらいたいと考えています。

出張講座や子供たちとの交流

浪岡大杉公民館では、近隣の杉高児童館などで出張講座を行っています。出張講座では、講師の方をお招きして津軽弁の昔話や津軽弁のクイズ、カルタなどで子供たちを楽しませています。

また、大栄小学校のPTA主催の夏祭りにも参加し交流を深めています。子供たちは職員のみなさんとも顔なじみとなり、多くの子供たちが気さくに話しかけてくれるそうです。

【編集後記】42年という長い歴史をもつ大杉公民館を取材させていただきました。地域住民の声を大切にしながら、事業に全力で取り組んでいるという職員のみなさんのお話が印象的で、地域とともに歩んでいこうとする思いと熱意を感じました。(TN)



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。